

令和7年度 未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書(報告書)

学校番号	32	学校名	都留高等学校	全・定・通	定	在籍生徒数	13	名
スクールポリシー (学力に関するもの)		・基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。						
グラデュエーション ポリシー		・道徳意識・規範意識の向上に努め、豊かな心を育む。 ・言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。 ・知力・体力の向上と健康・安全の保持増進に努める。						

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ
○ 自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
○ 目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出
○ 主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善
ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
文理の枠を越えた教科横断的・総合的な探究課題への取組

具体的な取組
1. 少人数での授業の利点を活かして、個に応じた学習レベルの設定と自己達成感を得られるような学習支援を充実する。
2. 学習した内容を整理・活用する機会を作ることで、自己の考えを表現したり、他者の意見を聞く機会を充実させる。
3. 生徒同士、生徒と教師が共に対話的に学ぶことで、授業内の活動を充実させ、適切な評価につなげる。

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移(%)	R7中間	R7末
(各校の授業アンケートに基づく)		
1. 自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた (①強くそう思う, ②そう思う)	81.8%	81.8%
2. 活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた (①強くそう思う, ②そう思う)	63.6%	81.8%
3.授業や単元の始まりに目標を確認することができた (①強くそう思う, ②そう思う)	90.9%	90.9%
4.授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた (①強くそう思う, ②そう思う)	90.9%	81.8%
5.授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた (①強くそう思う, ②そう思う)	63.6%	81.8%
6.授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる (①強くそう思う, ②そう思う)	90.9%	90.0%
7.授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った (①強くそう思う, ②そう思う)	81.8%	81.8%
8.他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた (①強くそう思う, ②そう思う)	90.9%	90.9%
9.学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた (①強くそう思う, ②そう思う)	90.9%	90.9%

総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む)
・「分かる」授業づくりについては、生徒の評価も高かく、「分からないところを詳しく教えてくれて分かるようになった」というコメントも複数見られた。個に応じた学習指導は定着している。
・授業中に真面目に取り組む生徒も多いが、テスト勉強などを主体的に学ぶ点で評価が悪い生徒も一定数いる。いまだに受動的な学びになっているところは今後の課題である。
・授業内での対話的な学びの工夫が行われており、「授業が楽しい、分かりやすい」という声が増えた。次年度は、さらに一歩進めて、学びを深めること工夫と、知識の整理・活用のために、他者と意見を共有する機会を増やしたい。ICTを活用した意見共有なども進めていきたい。

各教科の取組	※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。			
教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組
国語	実社会での自己実現を達成するために必要な知識及び技能	3.9	4	日々の学習が社会に出てから役立つことは皆理解できているが、学習内容の反復練習がまだ充分ではない。定期試験前の時間を活用して、しっかりと復習する習慣をつけさせたい。
	実社会で問題を解決し、状況を更に改善するために有効な思考力、判断力、表現力	4	4	各自の感想や意見を述べたり書いたりする機会を単元ごとに設けているが、論理的な意見文が書けるように添削指導を続けていきたい。
	主体的に学びに向かう力及び自己肯定感を持ち他者との協働に喜びを感じることでできる人間性	3.8	4	今年度は夏休み明けくらいによりやく皆が落ち着いて授業に参加できるようになってきたが、年度当初から主体的に授業に参加できるよう、目的意識を持たせ、他者理解を深めさせていきたい。
地公	様々な地球的課題の解決に向けて、多角的の考察でできる能力	4	4	具体的な課題とその解決法について、自らの調べ学習や担当教諭や他の生徒ととの討論等をおとし考察能力育めるような授業づくりをしたい。
	地域ごとに異なる文化を尊重しながら、国際理解を深めることができる思考力	4	4	民族・宗教・その他社会的諸問題の事例検討等を通じて判断力や自ら考え行動できるための力を養いたい。
	地理的な見方・考え方や地図に関する技能	4	4	地域における具体的に地図等を用いてのフィールドワークや旅行計画書の作成などにも取り組んでみたい。
数学	分数の割り算など複雑な計算ができる基本的な知識・技能	4.3	4.5	基本的なところはできるようになったが、いまだにミスが多くみられる。注意深く観察しながらミスを減らすように指導していきたい。
	数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	4	4	BYODなどを使い、視覚的に立体をとらえることができた。次年度も積極的に使っていきたい。
	粘り強く課題に取り組もうとする態度	4	4	ついつい解答に目が行きがちだったところが、徐々にではあるが自分の解答までたどり着いてから、答え合わせができるようになってきた。
理科	自然界に起こる事象を合理的に解釈する能力	4	4	身近な事象や思考実験を通して、合理的な考えを身につけさせるよう努力はしたが、その定着の度合いは十分とは言えないと感じた。
	観察、実験、実習のやり方を身に着け、その結果を科学的にまとめる能力	3	3	定時制の授業ではなかなか実験はできない。動画を見せたり、課題をこなしたりはした。
	学んだり、自ら見出した知識や方法を適切に発信できる能力	4	3	どうしても一方的な知識、技能の伝達に陥る傾向があった。ワークシートやパワーポイントを作らせて、学んだことを発表させる場面があってもよかった。
英語	英語の働きの理解を深め、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能	3.8	4	基本的事項を復習しながら、英語への抵抗感をなくす取り組みを進めた。徐々に、基本的な語彙や表現方法などを定着させて、日常のコミュニケーションを英語で図る機会を増やしたい。
	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	4	4	多様な話題に関心を持ち、表現しようとする学習姿勢は見られる。自分の感想や意見を簡単な英語で話したり書いたりする学習機会を増やしたい。
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	4	4	異文化への関心はあり、教材への関心を持つことができた。異文化を知ること視野を広めて、他者に質問をしたり自分の意見を述べるなど、英語でコミュニケーションを図ることを楽しめるようにしたい。
芸術	古代における文字を理解し、その書体の技術を習得する	5	5	1, 2年次で習得した書体を基礎とし、さらに特徴ある書体の知識を得る。古代文字の書体、書風も習得する。
	古典の臨書を通して、点画・線質の技法を身につけ、表現を工夫する	5	5	線質や用筆において緩急や抑揚をつけ、工夫した表現を身に着ける。
	古典の用筆・運筆を主体的に学びとろうとする姿勢を持つ	5	5	古典の書に関心を持ち、自発的に学ぼうとする態度を保つ。
家庭	生活を主体的に営むために求められる知識及び技能	4	4	生活者として、自立・自律していくための知識・技能を実生活で生かせるように具体的に指導していきたい。
	実験・実習等を発展させ実践的な活動を家庭や地域で行うことができる能力	3	3	様々な考えをもつ生徒への援助を通じて、共助の考えで協力して実習を行えるようにしていく。
	生活の営みについて課題を見つけ主体的に改善を図ろうとする態度	3	3	自らの生活の中から課題を見出し、PDSサイクルを意識し問題解決に当たらせる。
保体	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	3	4	基本的生活習慣が確立できていない生徒は、自身の健康管理が十分でなく、体調を崩す為、今後も更に助言とともに見守っていく。
	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	4	4	少人数での体育授業の展開であるが、一校一実践での取り組みである基礎体力トレーニングも継続的に取り組む。スポーツを全員で楽しめるコミュニケーション能力の向上。
	明るく豊かで活力ある生活を営む態度	4	4	日常生活を明るく楽しく送るには個々の健康を維持できる基礎体力が必要であるので、常に食生活・運動の継続を自主的にできるよう指導する。
情報	情報化社会に必要な知識、技術を身に着ける能力	4	4	知識とスキルを先行させたので、何のために情報を学び、どう活用し、どのようなことをしてはいけないのかという本質的な内容にあまり触れてこなかった。
	正しい情報を集め整理して、発信できる能力	4	4	ワード、エクセル、パワーポイントなど実用的なソフトの活用に終始した感があるが、体系的な問題解決をまとめる時間が欲しかった。
	情報化社会で陥る可能性がある危険を回避できる能力	4	4	情報の暗号化やメディアリテラシーなど、用語や概念などは学んだが、具体的事案にはあまり触れる時間がなかった。
総探	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	4	4	他者との協力や相互理解については、生徒の特質上難しい面がある。年次ごとの課題テーマの設定をしているが、個人の興味・関心による課題テーマの設定についても検討していきたい。
	テーマの設定し計画を立案する能力。情報を分析する能力	4	4	テーマ設定後に計画的に学習するための探究ノート等を検討したい。また、情報収集や分析方法についても学べる機会を設定する必要性を感じる。
	他者と協働し学び合う態度。社会に参画し理想の社会を実現しようとする態度	4	4	地域の課題をテーマとした探究活動や学園祭や教育祭における制作活動、外部講師による講演会を通して、社会への参画意識を育みたい。